

3 設置課程の目標と教育課程等（案）

（1）全日制 総合学科

①目標

基礎・基本を大切にするとともに、他者との協働を通して学びの質を高めます。総合学科の特色を生かし、生徒一人一人の興味・関心に基づく科目を開設し、主体的な学習活動を充実させ、それぞれの個性を最大限に伸ばさせます。地域との連携を大切にし、多くの「体験」と「出会い」から自分の在り方と生き方を見つめ、地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。

②教育課程編成の基本方針

共通教科・科目（以下「共通科目」という。）に、家庭・福祉・工業・商業や体育の専門科目等や芸術・理科などの学校設定科目を加え、職業選択や実生活に役立つ学びを通して社会に積極的に寄与する態度や、生涯にわたりスポーツや芸術に親しむ態度を養います。

地域の人材を活用する「ポイント講師制度」の活用や地域をフィールドとした学びを取り入れ、多様な教育内容を展開します。

③教育課程の特徴

ア 系列

○教養系列（仮称）

- ・基礎・基本の定着を図り、粘り強く問題解決に取り組むことができ、自分の考えを表現できる生徒を育成します。
- ・国語・地歴・数学・理科・英語等の選択科目を開設します。さらに、興味・関心に応じて自由に選択できる専門科目等を開設します。また、文章を書く力や考えを伝え合う力を育成する授業を展開します。

○スポーツ・芸術系列（仮称）

- ・運動の合理的な実践や健康についての理解を通して、生涯スポーツの普及に寄与し、健康な生活を送る態度を育成します。
- ・音楽や美術などの創造的な表現の能力や芸術の鑑賞の能力を伸ばし、豊かな感性と生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てます。
- ・体育の専門科目と芸術の学校設定科目等を開設します。さらに、興味・関心に応じて自由に選択できる専門科目等を開設します。身体表現、演奏活動、創作活動等を通して資質・能力を伸ばす授業を展開します。

○生活・福祉系列（仮称）

- ・健康で快適な家庭生活の在り方について、生活文化（衣・食・住）や保育・福祉・介護等、生活の視点から見つめなおし、日常生活の改善や生活者への理解を深め、豊かな生活文化の創造に取り組む能力・態度を育成します。

・家庭の専門科目と福祉の専門科目を開設します。さらに、興味・関心に応じて自由に選択できる専門科目等を開設します。豊かな生活文化を創造するために必要な実習活動を重視します。

○産業クリエイト系列（仮称）

・工業生産に対する理解を深めるため、生産現場で用いられる機械の基本的操作を習得させるなど体験的学習を重視します。安全で合理的な生産活動ができる能力・態度を育成します。

・ビジネスに関する基礎的な知識やビジネスの現場で必要不可欠なソフトの操作などの技術、ビジネスマナーを習得し、職業人として活躍する能力・態度を育成します。

・工業の専門科目と商業の専門科目を開設します。さらに、興味・関心に応じて自由に選択できる専門科目等を開設します。各種検定試験の合格を目指すとともに、技能を学び、職業人として活躍する資質・能力を伸ばす授業を展開します。

イ 特徴

○義務教育段階の知識を確認することからはじめ基礎・基本を大切にし、社会で働く知識・技能を習得できるような教育課程を編成します。

○1年次には、国語・数学・英語等の共通科目を学習します。2年次から系列ごとに設けられた総合選択科目から自分の興味・関心に基づいて選択し学習することができます。また、年次や系列の枠を超えて選択できる自由選択科目から学びたい科目を自由に選択することができます。

○総合学科の原則履修科目である「産業社会と人間」は、自己の生き方を探ることを通して、職業を選択し、決定する場合に必要な能力と態度を養うとともに、将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーション能力を養います。

※系列：興味・関心や能力・適性、卒業後の進路希望に合わせて科目を選択する目安になるように、相互に関連の深い、いくつかの科目をまとめたグループ(科目群)のこと。

※原則履修科目：総合学科の全ての生徒が原則として履修する科目。

※総合選択科目：自分の進路に応じて選択する、体系性や専門性において関連する科目。

※自由選択科目：興味や関心に応じて選択する科目。

④教育活動のイメージ





ア 授業時間帯

時間帯	午前				午後			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8
授業展開	全日制							

※全日制と定時制は同じチャイムで学校生活を過ごします。

イ 教育課程

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		国語		地歴		公民		数学			理科		保健		体育		芸術		英語		家庭		情報		◆産人	LHR					
2年	教養	地歴		理科		保健		体育		家庭		国語		数学		英語		●共通科目		共通科目		専門科目		総合探究		LHR					
	スポーツ・芸術																	●共通科目													
	生活・福祉																	●専門科目													
	産業クリエイト																	●専門科目													
3年	教養	体育		国語		地歴		数学		英語		●共通科目		共通科目		共通科目		共通科目		専門科目		総合探究		LHR							
	スポーツ・芸術											●共通科目																			
	生活・福祉											●専門科目																			
	産業クリエイト											●専門科目																			

- 必修科目 
- 原則科目 
- 総合選択科目 
- 自由選択科目 

(2) 定時制 総合学科

①目標

義務教育段階の「学び直し」から学習を進め、基礎・基本を大切にするとともに、他者との協働を通して学びの質を高めます。総合学科の特色を生かし、多様な科目を開設し生徒一人一人が実社会で活躍し主体的に生きる力を養うとともに、それぞれの個性を最大限に伸ばさせます。自分の在り方と生き方を見つめられるように、地域社会と連携し、様々な「体験」と「出会い」を通して、地域社会に貢献できる人材を育成します。

②教育課程編成の基本方針

卒業にかかる年数(修業年限)は4年を標準とします。また、定通併修等の異なる課程間の履修、校外における学修等による単位認定や自由選択群を設定するなど、3年でも卒業できる仕組みをつくります。

義務教育段階の「学び直し」を徹底し、高校の学習のベースとなる基礎学力を養います。共通科目の基礎・基本を大切にするとともに、家庭・工業・商業などの選択科目を開設し、職業選択や実生活に役立つ学びを通して社会に積極的に寄与する態度を養います。

全定併修科目や地域人材の活用や地域をフィールドとした学びも取り入れます。

③教育課程の特徴

ア 系列

○まなび総合系列(仮称)

- ・義務教育段階の「学び直し」から効果的に基礎・基本の定着を図るなど生徒個々の理解度に応じた学習活動を推進し、確かな学力を身に付け、地域社会貢献活動に参画できる生徒を育成します。
- ・国語・地歴・数学・理科・英語等の選択科目を開設します。さらに、興味・関心に応じて自由に選択できる共通科目・専門科目等を開設します。着実な学びを通して文章力やコミュニケーション力を磨き、社会で活躍できる能力を育成する授業を展開します。

○よのなか総合系列(仮称)

- ・社会の仕組みや衣食住、福祉、仕事などを学び、人々が互いに関わり合って生きて暮らす資質・能力を育成します。
- ・商業・家庭・福祉・工業などの専門科目等を開設します。さらに、興味・関心に応じて自由に選択できる共通科目・専門科目等を開設します。実習活動や体験活動を通して様々な技能を学び、豊かな人間性をもち職業人として活躍する基礎を培う授業を展開します。

イ 特徴

- 1、2年次では、主に国語・数学・英語等の共通科目を学習します。3年次から系列ごとに設けられた総合選択科目から自分の興味・関心に基づいて選択し学習できます。

- 総合学科の原則履修科目である「産業社会と人間」は、自己の生き方を探ることを通して、

職業を選択し、決定する場合に必要な能力と態度を養うとともに、将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーション能力を養います。

○朝のSHR後に短い学習時間（20分）を設定し、国語・数学・英語等を中心に、義務教育段階の学び直し等の学習を行い、修得単位数に含めることも検討します。

○2、3年次では、時程外（7、8校時）に系列の枠を超えて選択できる自由選択群を設け、学びたい科目を選択できるよう検討を進めます。

○4年次に学校設定科目「卒業研究」を開設し、インターンシップ等を通して社会の仕組みや職業、他者との関わりを探究する活動も検討します。

④教育活動のイメージ

ア 授業時間帯

時間帯	午前				午後			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8
授業展開		学習	定時制				選択	

※全日制と定時制は同じチャイムで学校生活を過ごします。

イ 教育課程

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
1年		国語	地歴	数学	理科	保健	体育	英語	家庭	情報	◆産人	LHR															
2年		国語	公民	数学	理科	保健	体育	芸術	英語	商業	総合探究	LHR															
3年	まなび総合	地歴	数学	体育	国語	英語	●共通科目				総合探究	LHR															
	よのなか総合						●専門科目																				
4年	まなび総合	国語	数学	英語	体育	●共通科目				卒業研究	LHR																
	よのなか総合					●専門科目																					

共通科目	専門科目
共通科目	専門科目

※上記 点線内の科目：
放課後に開設される選択科目
（ぶらさがり）

- 必修科目
- 原則科目
- 総合選択科目
- 自由選択科目

(3) 通信制 普通科

①目標

計画的な学習を通して自主性・自立性を養い、実践力を高め、自らの道を切り拓くことができる「たくましい力」を身に付けさせます。豊かな心を育み、個性の伸長を図りながら、他者と協調していく生活態度を育てます。心身の健康管理に努めさせ、自己実現のための強い意志と持続力を培い、積極的に社会の進展に寄与する人材を育成します。

②教育課程編成の基本方針

生徒自らが、学習時間・学習場所・学習進度を設定した上で、自分のペースで学べるといった通信制の特色を生かした、生徒の多様な能力・適性に応じた学習指導の充実を図ります。

共通科目に加え、定通併修を活用することにより総合学科で開設される専門科目の履修等も可能とします。定通併修や技能審査等の成果も単位として認定します。全日制・定時制との連携を図り、社会体験や職業体験などの校外での学習活動を取り入れます。

③教育課程の特徴

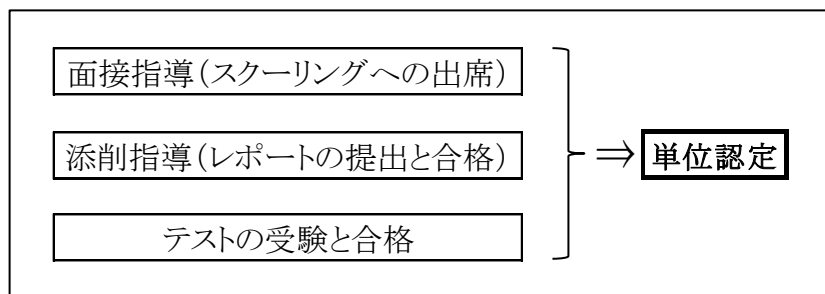
ア 学習のシステム

○学習の方法は、自宅での自学自習と学校での面接指導・添削指導が中心です。学校での指導は、面接指導日（スクーリング）に集中して受けることができます。年間の面接指導日は日曜日に20日程度（月に2～3回）で計画しています。

○自学自習の成果は、学校で配付する課題報告書（レポート）に書いて提出し、添削指導を受けます。

○面接指導日（スクーリング）において、科目ごとに定められた時間以上の面接指導を受けるとともに、定められた回数の添削指導を受けると、テストを受験することができます。科目ごとに定められた回数のテストに全て合格すると、その科目の単位の修得が認められます。

<イメージ図>



イ 特徴

- 国語・数学・英語等の共通科目を中心に学習します。定通併修等で工業・商業等の専門科目を学習することもできます。

- 生徒一人一人の受講科目が異なるため、学校の年間指導計画をもとに自分の時間割(学習計画)を作成し、学習に取り組みます。自分のペースに合わせて学ぶことができますが、その分、計画する力や実行する力が必要となります。

- 日曜日の面接指導日(スクーリング)に参加できない生徒のために、平日の夜間などに面接指導日を設定することを検討します。

- 生徒が自学自習を進め、学習内容の理解を深められるよう、平日の個人面接指導の設定を検討します。

- 一部の科目については、定通併修、高等学校卒業程度認定試験、技能審査等を活用することにより、本校通信制以外の学修(学習)で単位を修得することができます。

④教育活動のイメージ

ア 面接指導及びテストの時間帯



日曜日の面接指導日（スクーリング）の例

時間帯	午前(8:40～12:15)				午後(13:00～15:40)				
時限	1	2	SHR	3	4	5	6	清掃	7
	自分の時間割に合わせて出席								

イ 教育課程

各年度で、自分の時間割（学習計画）に基づいて科目を選択し履修する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49						
1年	国語	国語	地歴	地歴	公民	数学	理科	理科	理科	理科	体育	保健	英語	家庭																																									
2年	国語		国語		地歴	地歴	公民	数学	数学	理科	理科	体育	保健	芸術	英語	商業	商業	家庭	専門科目	専門科目																																			
3年	国語		地歴	公民	数学	理科	理科	体育	英語	情報	総合	商業	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目																																			

必修科目 
 定通併修科目 

（4）教育の特色（課程間の連携、特別支援教育、入学者選抜等）

○異なる課程間における相互履修は、定時制と通信制の間における「定通併修」、及び全日制と定時制の間における履修を計画しています。

○学校行事は原則としてそれぞれの課程で行うこととしますが、全日制と定時制は一部の行事を合同で行う予定です。通信制は単独で行うことにしています。また、生徒会活動や部活動の在り方は開校までに定めます。

○特別支援教育の充実のため、スクールカウンセラー・特別支援教育支援員等を配置し、生徒が生活や学習上の課題を克服して自分の能力や才能を十分に伸ばすことができる環境を整えるよう計画しています。

○入学者は、全日制・定時制それぞれの課程で募集し、課程間の併願はできません。通信制は全日制・定時制とは別日程で募集します。詳細は平成33年度中に公表します。また、転学や編入学の在り方は開校までに定めます。